

第2部 各部の専門的な視点からとらえた研究

I 生きる力をはぐくむ教科等の教育の在り方

教科教育部

はじめに

完全学校週5日制のもと、児童生徒に「生きる力」をはぐくむことをねらいとした新学習指導要領が、小中学校においては今年度から完全実施され、高等学校においては、来年度から年次進行により段階的に実施される。各学校では、「生きる力の育成」や「特色ある学校づくり」等をめざした教育課程の編成と、それに基づいた具体的な取り組みが進められている。

教科指導においては、指導内容を厳選し、ゆとりの中で基礎・基本の確実な定着を図るとともに、個性を生かした教育を充実させることにより、児童生徒一人一人に「自ら学び、自ら考える力」をはぐくむ授業が求められている。そのためには、指導内容を吟味し、児童生徒にとって魅力ある教材を提示するとともに、個々の学習状況を的確につかみ、個に応じた指導の工夫や支援を行うことで「分かる喜び」や「自己の成長」が実感できる授業を日々実践することが必要である。

教科教育部では、こうした課題やニーズに応えられるよう今年度の講座等の運営に当たってきた。

研究調査においてもこうした点を踏まえ、部全体の研究テーマを「生きる力をはぐくむ教科等の教育の在り方」とした。研究の推進に当たっては、専門性、先見性、日常性の視点から、各専門主事が下記のようなテーマを設け、専門分野における研究、教材開発、授業改善等を中心に研究調査を進めてきた。

今年度は、その中から音楽と英語の2教科について、その成果をまとめた。

平成14年度 教科等研究テーマ・研究担当者

教科等	研究テーマ	研究担当者
国語	メモ表現を視点とした言語能力の育成	青木泰治
社会・生活	「地域の規模に応じた調査」における指導の方向	神津利信
算数・数学	幾何ソフトを作るうえで遭遇した数学的課題とその解決	山田洋一
初等理科・生活	生き物の営みや生命に触れ感動し実感する理科学習	池田泰司
物理	高校「物理Ⅰ」電磁気学習の導入	櫻井達雄
地学	太陽の黒点観察の指導とその教材化	徳原嗣久
化学	電子レンジで赤熱するセラミックス作製とその応用	土屋範芳
生物	ADコンバータを用いたアフリカツメガエルの体温変化の測定	藤江明雄
音楽	手作り楽器の音を生かした「つくって表現する」活動	小川潤
図画工作・美術	関連付け・一体的な題材の教材化	村上啓
技術	題材としての「知恵の輪」づくりⅡ	北沢秀雄
家庭	家庭科におけるアクションリサーチを用いた環境学習の教材化	松本携子
英語	Using Video in English Language Teaching	伴野健一
道徳・特別活動	価値の自覚を深める総合単元的な道徳学習	今井睦俊